

揖斐川町消防出初式

～防火防災の意識を高め、安全安心なまちづくりを～

1月9日(日)、平成23年揖斐川町消防出初式が揖斐川健康広場で開催されました。

分列行進が行われたあと、健康広場アリーナで開催された式典では、功労者表彰などが行われました。なお表彰された方は次の皆さんです。

(順不同、敬称略)



▲分列行進の様子

◆岐阜県知事表彰

◇永年勤続功労章

- 副分団長 小椋 英博(坂上)
- 班 長 杉坂 好洋(坂内西部)
- 班 長 立川 直之(本部)
- 団 員 坂下 久幸(本部)

◇勤続功労章

- 部 長 田中 設夫(坂内東部)
- 班 長 白川 勇一(美束)
- 班 長 高橋 弘茂(小津)
- 団 員 安藤 岸行(小津)
- 団 員 矢野 幸司(本部)

◇功 労 章

- 分団長 古野 秀利(横蔵)
- 分団長 森 恒彰(久瀬南部)
- 分団長 松本 繁雄(藤橋)
- 副分団長 佐名 浩二(六合)
- 副分団長 高橋 一樹(久瀬)
- 班 長 金崎 浩司(美束)
- 団 員 佐名 宏文(六合)
- 団 員 大西 臣人(久瀬南部)

◆消防団員優秀家族賞……………18人

◆西濃振興局長表彰

- 副分団長 金森 進一(藤橋)
- 部 長 渡邊 靖夫(大和)
- 班 長 谷口 昭治(坂内東部)
- 団 員 新川 正康(美束)
- 団 員 中島 寿(久瀬)
- 団 員 竹中 徹(久瀬)

◆岐阜県消防協会会長表彰

◇勤労章【20年】

- 副分団長 増元 庄二(久瀬)
- 団 員 安藤 岸行(小津)
- 団 員 小寺 淳一(本部)
- 団 員 高橋富士夫(本部)

◇勤労章【15年】

- 分団長 河村 真澄(徳積)
- 副分団長 竹嶋 久善(大和)
- 副分団長 松波 志郎(脛永)
- 副分団長 仲井 慎也(横蔵)
- 班 長 若原 紀章(本部)
- 班 長 堀 篤(本部)
- 班 長 久野 賀弘(本部)
- 班 長 山本 和之(坂上)
- 団 員 内藤 廣重(六合)
- 団 員 仲野 靖彦(美束)
- 団 員 五十川健二(小津)
- 団 員 鷺見 孝之(本部)
- 団 員 木野村 亨(本部)
- 団 員 北野 嘉樹(本部)
- 団 員 小寺 良英(本部)
- 団 員 神谷 基樹(本部)

◇功績章

- 分団長 平井 昭充(名礼)
- 分団長 日下部芳文(久瀬)
- 分団長 長屋 清重(小津)
- 部 長 仲井 幸雄(横蔵)
- 団 員 立川 賢二(六合)
- 団 員 羽實 靖雅(久瀬南部)
- 団 員 藤原 弘(本部)
- 団 員 高橋 利彦(本部)

◆揖斐郡消防協会会長表彰

◇功 労 章……………28人

◇功績章……………26人

◇勤 労 章……………30人

◆町長表彰

◇町長特別感謝状

揖斐分団

◇町長特別功労章

- 部 長 渡邊 靖夫(大和)
- 部 長 林 重美(大和)
- 団 員 森 晃廣(六合)
- 団 員 寺井 智紀(藤橋)
- 団 員 馬淵 真二(藤橋)
- 団 員 松野 裕人(藤橋)
- 団 員 北野 嘉樹(本部)
- 団 員 宗宮 孝臣(本部)

◇功 労 章(消防団)……………33人

◇功 労 章(女性防火クラブ)……………21人

◇町長感謝状

清水小学校少年消防クラブ

◆消防団長表彰……………45人

◆女性防火クラブ会長表彰……………25人

※消防団員優秀家族賞、揖斐郡消防協会会長表彰、町長表彰(功労章)、消防団長表彰、女性防火クラブ会長表彰は、紙面の都合上、受章者の紹介は省略させていただきます。ご了承ください。

叙勲(瑞宝双光章)受章

平成22年10月29日に亡くなられた宮川俊明さん(東横山)が瑞宝双光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

宮川さんは、昭和47年4月から旧藤橋村に奉職し、豊富な経験と卓越なる識見をもって地方自治の発展に貢献されました。また、平成5年4月からは収入役として12年にわたり住民の支持と協力を得ながら、会計事務の公正な処理を確保するためにご尽力されました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



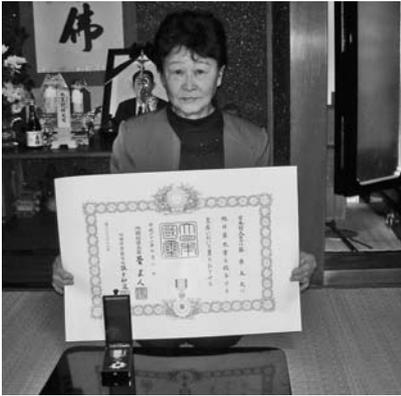
▲叙勲の伝達が行われました。

叙勲(旭日単光章)受章

平成22年9月1日に亡くなられた藤原太光さん(春日小宮神)が旭日単光章を受章され、宗宮町長よりご家族へ伝達が行われました。

藤原さんは、平成3年4月から旧春日村議会議員として、4期14年にわたり在職され、特に平成11年5月から2年間に、副議長として議会の円滑な運営にご尽力されました。またこの間、同村の福祉、教育文化の向上、産業経済基盤の充実などに多大な貢献をされました。

これら生前の功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。この多大な功績に対し、敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りします。



▲叙勲の伝達が行われました。

横山ダムが映画のロケ現場に

SPACEBATTLESHIP YAMATO

12月1日(水)に、公開された木村拓哉主演の映画「SPACEBATTLESHIP ヤマト」のロケ地として東横山の横山ダムが使われました。

横山ダムは、全国でも珍しい中空重力式ダム(堤体内部が空洞になっているダム)で、映画の中では、地球防衛軍が地下で宇宙戦艦ヤマトを建造するシーンとして使われています。

撮影は、一昨年11月に行われ、山崎監督をはじめ、多くの役者やスタッフを訪れました。

現在、横山ダムでは、撮影現場の見学ができます。この機会に珍しいダムの内部を見学してみませんか。

【お問い合わせ先】

国土交通省

横山ダム工事事務所 総務課

TEL 52-2211

※平日昼間限定・要予約



給食を考える全校集会

北和中学校

12月10日(金)、北和中学校で「給食を考える全校集会」が行われました。

この取り組みは、食育の一環として、生徒自らが、揖斐川町学校給食センターを訪問し、見てきたことや聞いてきたことをまとめ、全校生徒の前で発表をしました。

給食センターを取材した、健康委員会の24人の生徒は、給食に関わる費用や調理員の仕事などについて発表したり、寸劇などを披露しました。

この集会では、食材を提供されている桂茶生産組合の太田哲朗さんの講演もあり、生徒は、食事のマナーだけでなく、給食に携わる関係者の思いを知り、食の大切さを学びました。



▲給食を考える全校集会の様子

租税教室

税の仕組みを学ぶ

社会生活の基本的なしくみやルールを学ぶ租税教室が、12月14日(火)、清水小学校で行われました。

この取組みは、税金の意義や役割を正しく理解し、その使い道に関心を深めることを目的に町内の各小学校で行われています。

この日は、清水小学校6年生の児童14人を対象に、役場の税務課職員が講師を勤め、児童たちにとって身近な救急車などを例にあげ、税金がどのように自分たちの生活に使われているのかや、税金の種類などを学びました。

児童たちからは、税金に対する質問も出ていました。

こうした取組みが、社会の仕組みやルールを主体的に考える機会につながっています。



▲租税教室の様子(清水小学校)

ソフトバレーボール大会

スポーツを通して健康増進

12月12日(日)、揖斐川健康広場アリーナでソフトバレーボール大会が行われました。

この大会は、今年度が初開催で、揖斐川町全域で親しまれているソフトバレーを媒体に、運動することによって健康増進を図り、選手間の交流や各地区公民館のつながりを深めることを目的に開催されました。

この日は、各地区公民館から16チーム約100人が参加しました。大会の結果は、次のとおりです。

【優勝】

L V C K チームA (久瀬地区)

【準優勝】

L V C K チームB (久瀬地区)

【3位】

北方1区(北方地区)
坂内(坂内地区)



▲熱戦が繰り広げられました

年末年始地域安全運動

自転車安全点検

12月13日(月)、養老鉄道揖斐駅の駐輪場で年末年始地域安全運動の一環として、自転車安全点検が行われました。

この日は、地域安全指導員と警察活動協力員など約30人が参加し、自転車の盗難防止などを目的に、鍵の状態や防犯登録の確認などを行い、約200台の自転車に点検カードをつけました。

最近、揖斐署管内で自転車が盗まれる被害が多発しています。

自転車には、鍵をかけ(ツーロック)、防犯登録証を確実に張り付けるなど、各個人でも防犯対策をしましょう。



▲自転車安全点検の様子(養老鉄道揖斐駅駐輪場)

地域森林整備集約協定締結式

施業の効率化を目指して

12月15日(水)、揖斐川町役場で森林整備集約協定の締結式が行われました。

今回は、春日尾又・押又地域で町や法人、森林組合などが所有する森林をまとめて、作業道整備など効率的な施業を目指すことが目的で、県内初の協定締結となりました。

協定を結んだのは、揖斐川町・森林総合研究所森林農地整備センター・岐阜水源林整備事務所、岐阜県森林公社、揖斐郡森林組合の4者で、対象となるのは、春日尾又・押又地域の山林約266ヘクタールです。

集約によって山林を一体的に整備することは、林業再生に向けた先進的な試みとして期待されています。



▲森林整備集約協定締結式の様子

環境大臣表彰受賞

〜西濃環境NPOネットワーク〜

12月16日(木)、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞した西濃環境NPOネットワーク(いびがわみずみずエコーステーションが事務局)西濃地域の環境NPO法人25団体で構成 会長 中村賀久(なむらよしひさ)が受賞報告に役場を訪れました。

今回表彰対象となったのは、「エコライフ推進プロジェクト」で、マイバックやマイ箸持参など、お客さんが協力店で環境に優しい活動をするスタンプポイントがたまり、100ポイントで天然石鹸などに交換できる取り組みです。

また、このプロジェクトは環境省が主催する「エコ・ジャパン・カップ」でも「ライフスタイル部門市民が創る環境のまち元氣大賞」の特別賞も受賞しました。



▲受賞おめでとうございます

揖斐高シヨップ大盛況

12月16日(木)、県立揖斐高等学校の生徒による「揖斐高シヨップ」が揖斐川町上町の空き店舗を利用して開かれ、大勢のお客でにぎわいました。

揖斐高シヨップは、7月と12月に開かれ、今回は普通科情報コースの2、3年生8人が運営。生活環境科食物コースの生徒が作ったどら焼きやエプロン、町の友好都市である北海道芽室町の特産品などが販売されました。

また、揖斐特別支援学校(谷汲深坂)の生徒が作った竹細工など、30種類ほどの商品が並びました。店長の樋谷亮太さん(3年)は、「魅力のある店づくりをするのは大変です。」と話していました。



▲大勢の来店客でにぎわいました

東横山地すべり対策・下谷第一砂防堰堤事業が完成

12月21日(火)、藤橋地区東横山地すべり対策事業ならびに久瀬地区下谷第一砂防堰堤事業の合同竣工式が西横山地区で行われました。

「東横山地すべり対策事業」は、平成18年5月12日〜13日に、幅約150メートル、高さ約14.5メートルにわたって発生した地すべりの対策工事が完了。

「下谷砂防第一砂防堰堤事業」は、平成20年9月2日〜3日にかけての集中豪雨で、下谷からの土砂災害により、国道ならびに町道が災害を受け、通行止めにもなりましたが、このたび砂防工事と災害復旧工事とも完成しました。



▲くす玉開きで事業の完了を祝いました

全国中学生人権作文コンテスト 法務省人権擁護局長賞受賞

12月22日(水)、谷汲中学校で法務省の第30回全国中学生人権作文コンテストで法務省人権擁護局長賞を受賞した、谷汲中学校1年の不破礼華さんへの表彰伝達式が行われ、24日(金)に受賞報告で役場を訪れました。

不破さんは、同コンテスト県大会で最優秀賞を受賞しており、作文では、「私に出来る事、残された課題」をテーマに、「人間が人間として、人間らしく生きる」ってなんだろう。そして「平等に生きる」とは何を基準に成り立っているのかなどを自らに問い掛けています。

不破さんは、「人権を考える良い機会になりました。」と話されました。



▲受賞おめでとうございます

田舎暮らし体験 in いびがわ

揖斐川町では、地域の自然・文化・農林業などの田舎体験、移住実践者や地域住民との交流、宿泊体験をパッケージにした滞在期間別の田舎暮らし体験メニューを構築し、移住・定住対策のモデルとなる事業を実施しました。（岐阜県委託事業）

参加者からは、「初めて揖斐川町に来たが、何となく愛着が湧く地域だ。」「揖斐川町の良さを知ることができました。また家族で訪れたい。」などの感想が寄せられました。体験プログラムは次のとおりです。

【プチ田舎暮らし体験】

1泊2日のショートステイコース
揖斐川上流水源地域で自然とふれあう田舎暮らし体験



▲炭焼き体験（竹炭）

【たっぷり田舎暮らし体験】
2泊3日のミディアムステイコース
農作業をたっぷり味わう田舎暮らし体験



▲移住実践者との就農作業体験

【どっぷり田舎暮らし体験】

1週間のロングステイコース
地域の暮らしと自然を活かした農作物づくり田舎暮らし体験



▲地元の受入キーパーソンの指導を受けての農作物づくり体験

サンタが家にやってきた

揖斐川青年団・揖斐川VYSによる『サンタが家にやってきた！』が12月23日（祝）に行われました。

青年団・VYSの皆さんが、サンタクロースに扮して、あらかじめ親から預かったプレゼントを子どもに手渡しました。来年までいい子でいることをサンタと約束し、その場で撮った写真もプレゼントしました。突然のサンタクロースの訪問に大喜ぶする子や、びっくりする子などいましたが、サンタクロースからプレゼントが渡されると、笑顔でプレゼントを受け取っていました。



▲Merry X'mas!! 来年までいい子でいてね♪

子どもたちに夢を与えたい
揖斐川ライオンズクラブ

12月15日（水）、揖斐川ライオンズクラブのメンバーがサンタクロースの姿で町内の幼稚園や保育園を訪問し、子どもたちにプレゼントを手渡しました。

この事業は、「子どもたちに夢を与えたい」という思いから、揖斐川ライオンズクラブが毎年行なっているものです。

子どもたちもサンタクロースに会えるこの日を楽しみにしており、サンタクロースが登場すると、歓声が上がりました。子どもたちは、歌を歌ってサンタクロースを歓迎し、楽しいひとときを過ごしました。



▲サンタクロースと記念写真（かすが保育園）